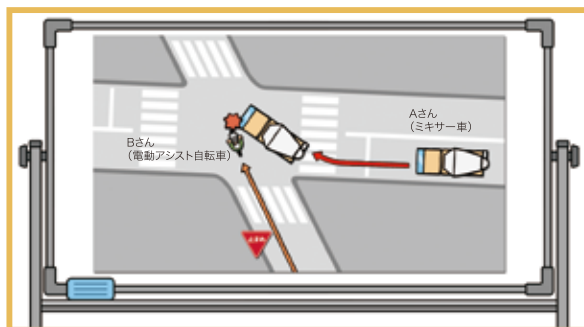


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役にください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、ミキサー車、50代)は、早朝、ひとつ目の現場への配達を終えて次の現場へ向かう前、生コンクリートを積むため会社に戻る途中でした。片道1車線の道路を走行中、信号のない交差点にさしかかったところ、突然左からBさん(男性、電動アシスト自転車、90代)が飛び出してきました。ハンドルを右に切りながらブレーキを踏んだのですが、間に合わずBさんをはねてしまいました。その後Aさんは、すぐには止まれず反対側の歩道に乗り上げて停止しました。

事故現場
略図



事故の原因

この事故は、一時停止義務のあるBさんが停止せず
に飛び出したことが原因です。本人死亡のため、なぜ
飛び出したのかは判りませんが、事故が起きた交差点は
見通しも良く、お互いにその存在を事前に確認できる

状況にありました。しかしAさんは、対向車も先行車も
なく閑散とした状況だったので、交差点より先の景色
をぼんやり見ており、漫然運転状態になっていたため
防げませんでした。

安全運転に向けて指導のポイント

Aさんが運転に集中していて、交差点に差し掛かる
のに止まりそうもないBさんを事前に見つけたら、
動向を注視し自ら減速するなどの対応をしていれば、
この事故は防げたかもしれません。交通事故は、双方
のエラーが重なることで発生します。

どちらか一方でも、エラーを起こさず、予知・予測により
正常に対応できていれば、事故は減らすことができ
ると思います。ハンドルを握ったら運転に集中して予知・
予測(防衛)運転を行い、事故防止に努めましょう。

今月の安全メモ!

- ・交通閑散状況でも気を緩めず運転に集中しよう!
- ・予知・予測(防衛)運転を徹底し、相手がエラーをしても事故にならないようにしましょう!